

会議録様式

審 議 会 名	第2回（仮称）杉戸町手話言語条例検討委員会
開 催 日 時	令和6年10月3日（木）午前10時00分～11時30分
開 催 場 所	杉戸町役場 本庁舎1階会議室
会 議 の 議 題	(1) 杉戸町における手話等に関する取組について (2) 条例に盛り込む内容の検討について
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 非公開 （公開の場合傍聴者数 1人）
	(非公開の場合理由)
出席委員氏名	(出席委員) 岡野敏昭委員、松田弘美委員、須田恒男委員、青木一子委員、 柴田周子委員、山路久彦委員、稲垣良行委員、間宮佐委員、 吉澤久美子委員
審議の概要	
各議題について意見及び質問をいただいた。 詳細は別紙のとおり。	

・議事（１）「杉戸町における手話等に関する取組について」

委員)

手話体験講座の対象者や回数、参加人数を教えてください。

事務局)

社会福祉協議会、聴覚障害者協会、手話サークルに協力してもらい開催した日曜日の午前中２時間の単発の講座であった。

幅広い年代の参加があり、気軽に手話が学べる機会があればまた参加したいというような感想を頂戴した。

手話サークル選出委員)

講座に参加した中から、３～４名がその後、サークルに加入した。

・議事（２）「条例に盛り込む内容の検討について」

事務局)

今回、各委員にご意見を頂いた趣旨は、取り組みたい内容、取り組んでほしい内容を事前に確認、理解した上で条文の中に各々の役割として明文化していくためお聞きしたものです。

委員)

私が皆さんに認識してもらいたい言葉は、「手話はろう者の言語である」という言葉です。ろう者には、文字よりも手話で伝えることが重要である。私は、この言葉を前文に記載してもらいたいと思っている。

委員)

今までも団体として色々やってきた。条例ができて私が一番期待しているのは、役場の職員が手話を覚えてくれること。なので、職員の手話講習は必ずやってほしいと思っている。

他の市町の言語条例を見ても、団体の役割が記載されているところはない。

事務局)

今既にやっている活動でも条例ができることでより着目することもできると思う。今やっている活動を挙げていただくものよいと思う。